

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 香川県 】

1 実践テーマ	【 II III IV V 】
2 実施対象者	三豊市立勝間小学校 1年生32名・2年生20名・3年生23名・4年生24名 5年生22名・6年生19名・教職員21名（計161名）
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 教科名（特別の教科道徳・音楽・総合的な学習） ② 行事名（国別対抗校内大会（水泳・マラソン・なわとび）マラソン世界記録に挑戦） ③ その他（ ） <p>(2) 地域における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① イベント名（勝間地区文化祭） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 縦割りの活動を色別対抗戦から国別にすることによって、オリンピック・パラリンピックへの関心を高める。 ○ 特別な教科道徳において、それぞれの国の文化の違いや日本文化のよさ、障害者理解、おもてなしの心の大切さなどの心の教育を通して、人間性豊の児童の育成を図る。
5 取組内容	<p>【具体的な取組】</p> <p>1 国別対抗戦に向けた国旗作りと国別対抗校内水泳大会・マラン大会の実施 今まで、「赤・白・青・黄」の4色対抗で行っていた縦割りの活動を「スマイルサン国・ホワイトスター国・スターシャイン国・スマイル国」の4カ国対抗戦とした。</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;">     </div>

2 三観地区教育文化祭・香川県小中総合文化祭・勝間地区文化祭での発表

3・4年生が教育文化祭の音楽発表の部で「It's a small world with Katsuma」と題して、世界の音楽を紹介するとともにオリンピック・パラリンピック教育にも取り組んでいることを紹介した。



3 授業参観での授業実践

授業参観において3年が「にんじんのかざり切り～日本文化のよさ」と題して、日本食の伝統文化のすばらしさを学習し、4年が「公平って何？」で障害者の友だちと一緒に楽しくプレーするためにどのようなルールにすればよいか考えさせた。また、6年では「3つのおもてなし」として東京ディズニーランドのゲストのおもてなしについて学習することで、様々な人へのおもてなしを考える機会とした。



4 マラソン世界記録に挑戦

全校生がバトンをつないで、マラソン世界記録（2時間1分39秒）に挑戦した。結果は2時間31分20秒で目標達成にはいたらなかった。



<p>6 主な成果</p>	<p>今まで行っていた教育活動を「オリンピック・パラリンピック教育推進事業」の視点から見直すことで活動内容を大幅に変更することなく、児童のオリンピック・パラリンピックに対する意識を高めることができた。</p> <p>また、「マラソン世界記録に挑戦」を実践したことで、アスリートの能力の高さを実感するだけでなく、全校生が一つの目標に向かってがんばったことで達成感を味わうとともに勝間小学校の団結力を高めることができた。</p>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現行の教育活動とオリンピック・パラリンピック推進教育との関連づけ <ul style="list-style-type: none"> ・ 色別対抗校内大会（水泳・マラソンめ・なわとび）を国別対抗戦とし、高学年を中心に旗作りを行い、国としての意識を高めた。 ・ 3・4年生が県小中文化祭での発表当番校となっていたので、楽曲の選定の際に、外国の曲を意図的に選び、発表の中にその国の紹介も行い、国際理解につなげた。 ・ 保護者に対しても、オリンピック・パラリンピック教育を推進していることを知ってもらうために、授業参観において、日本文化のよさや障害者理解、ディズニーランドのおもてなしについての授業公開を行った。 ○ アスリートの競技力を実観 <ul style="list-style-type: none"> ・ 全校生で男子マラソン世界記録に挑戦させることで、世界のトップランナーの速さを実感させた。 ・ 全校児童と教職員全員が一つのバトンをつないでマラソンをすることで、勝間小学校に帰属している意識を高めた。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国別対抗戦では、旗作りが1学期末であったので、国としての意識の高まりがあまり感じられなかった。 ○ 1年を通しての縦割り活動の見直しが必要である。校内大会の時のみの集団となっている。 ○ オリンピック・パラリンピックに関する内容を調べたり発表したりすることで、知識を豊かにする必要がある。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年間計画を立てる際には、全ての教育活動をオリンピック・パラリンピック教育の視点からの見直しを図る。 ○ 国別対抗の縦割り活動の内容の見直し、年間を通しての活動ができるようにする。 ○ マラソン世界記録に挑戦は、平成30年度の記録を目標タイムとして実施する。 ○ 各教科の学習においても、オリンピック・パラリンピックに関係づけて指導を行う。